

イスターカーテン

R300 扉

取付説明書

このたびは、TOKOの商品をご採用いただきましてありがとうございます。
 商品の組み立てや取り付けには、この説明書をお読みになり、正しく美しく仕上げてください。
 ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
 施工にあたって必ずお守りください。

■工事店様へのお願い

扉梱包セットに同梱されている取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください

目 次

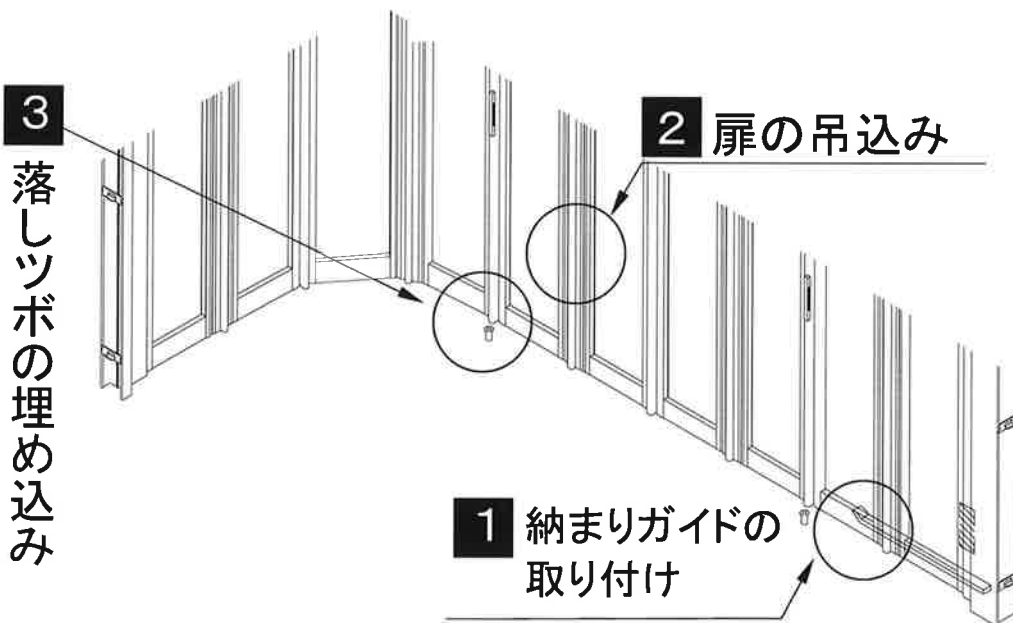
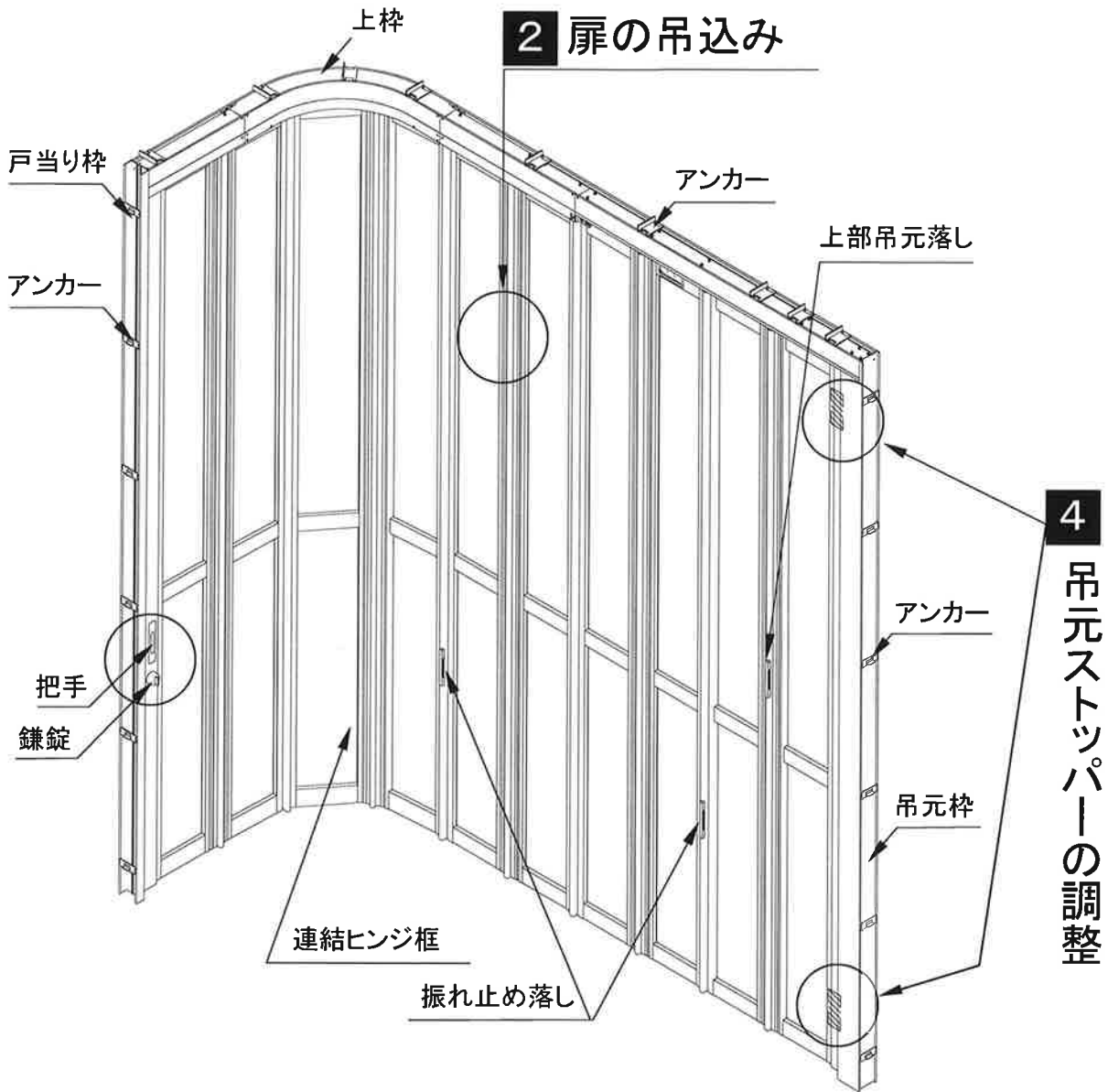
□施工上の注意事項	P1
□取り付け手順	P2
1 納まりガイドの取付	P3
2 扉の吊り込み	P3
■扉の構成	P3
■扉の吊込み準備	P3
■上枠のガイドレール取外し	P4
■上枠のガイドレール取り付け	P5
■扉の吊込み	P6
■扉の連結	P7
3 落としボの取り付け	P8
4 吊元ストッパーの調整	P9
■吊元ストッパーの調整ラベル	P9
■吊元ストッパーの位置	P9
■吊元ストッパーの取り付け	P10
□施工後の点検	P10

施工上の注意事項

- (1)各部材の組み立て・取り付けは取付説明書通り確実にこなしてください。
- (2)ねじ止め箇所は、指示してあるねじすべて確実に止めてください。
- (3)枠が躯体に納まるかどうか、躯体の開口幅・開口高を実測してください。
- (4)枠の内法寸法を十分確認してください。
- (5)モルタル施工の際、モルタルにアルミ表面の腐食の原因になるものは使用しないでください。
- (6)施工時にアルミの表面に付着したモルタル等は、速やかに清掃するか、マスキング等を使用して施工してください。

取り付け手順

■施工は、下図の番号順でおこなってください。
図は片引き 右勝手を示します。

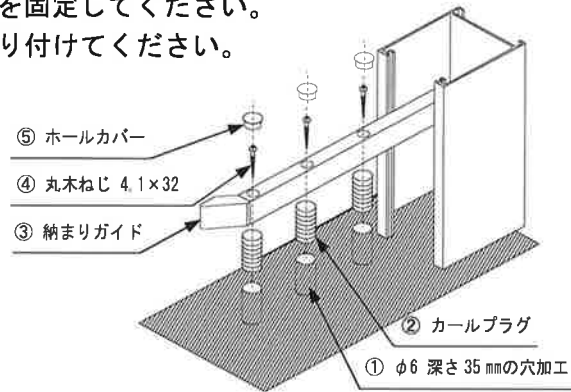
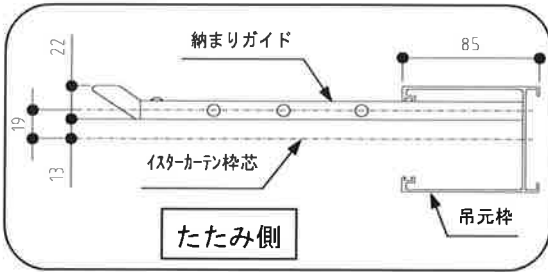


1 納まりガイドの取り付け

取り付け位置は、基準墨（イスターカーテン枠芯）より正確に位置出しをおこなってください。納まりガイドは本体下部をガイドする機能を持ちますから、ガタツキがないように確実に取り付けてください。

● 図 ①～⑤ の順に正確に取り付けてください。

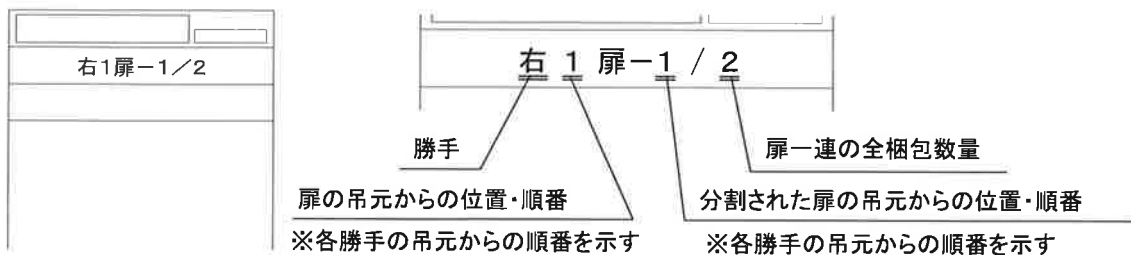
- ① 納まりガイドを下図記載の寸法にて取り付け穴加工位置を出し、φ6のキリにて土間に深さ35mm以上の穴を開けてください。
- ② 穴にカールプラグを差込んでください。
- ③ 納まりガイドを取り付け位置に設置してください。
- ④ (+)丸木ねじ φ4.1×32 にて納まりガイドを固定してください。
- ⑤ 納まりガイドの穴加工位置にホールカバーを取り付けてください。



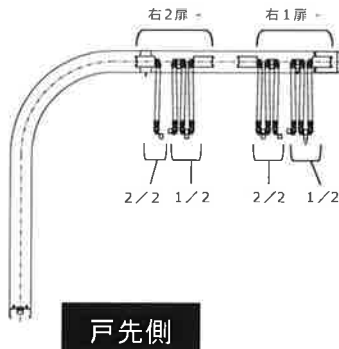
2 扉の吊込み

■ 扉の構成

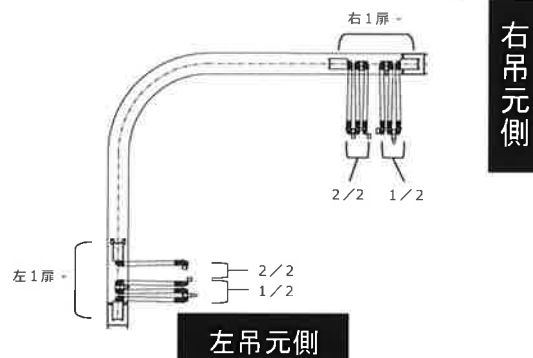
扉は仕様により種類が異なります。梱包箱側面に貼り付けてある梱包表示ラベルにて、扉の配置を確認してください。吊元棒に近い扉から吊込む仕様になっています。



【片引き右勝手2連の場合の表記例】



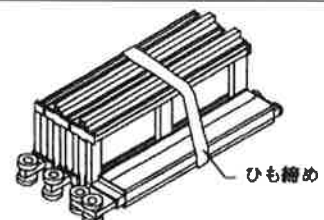
【引分け2連(1+1連)の場合の表記例】



■ 扉の吊込み準備

・扉をたたみ、ひも等で仮締めしてください。

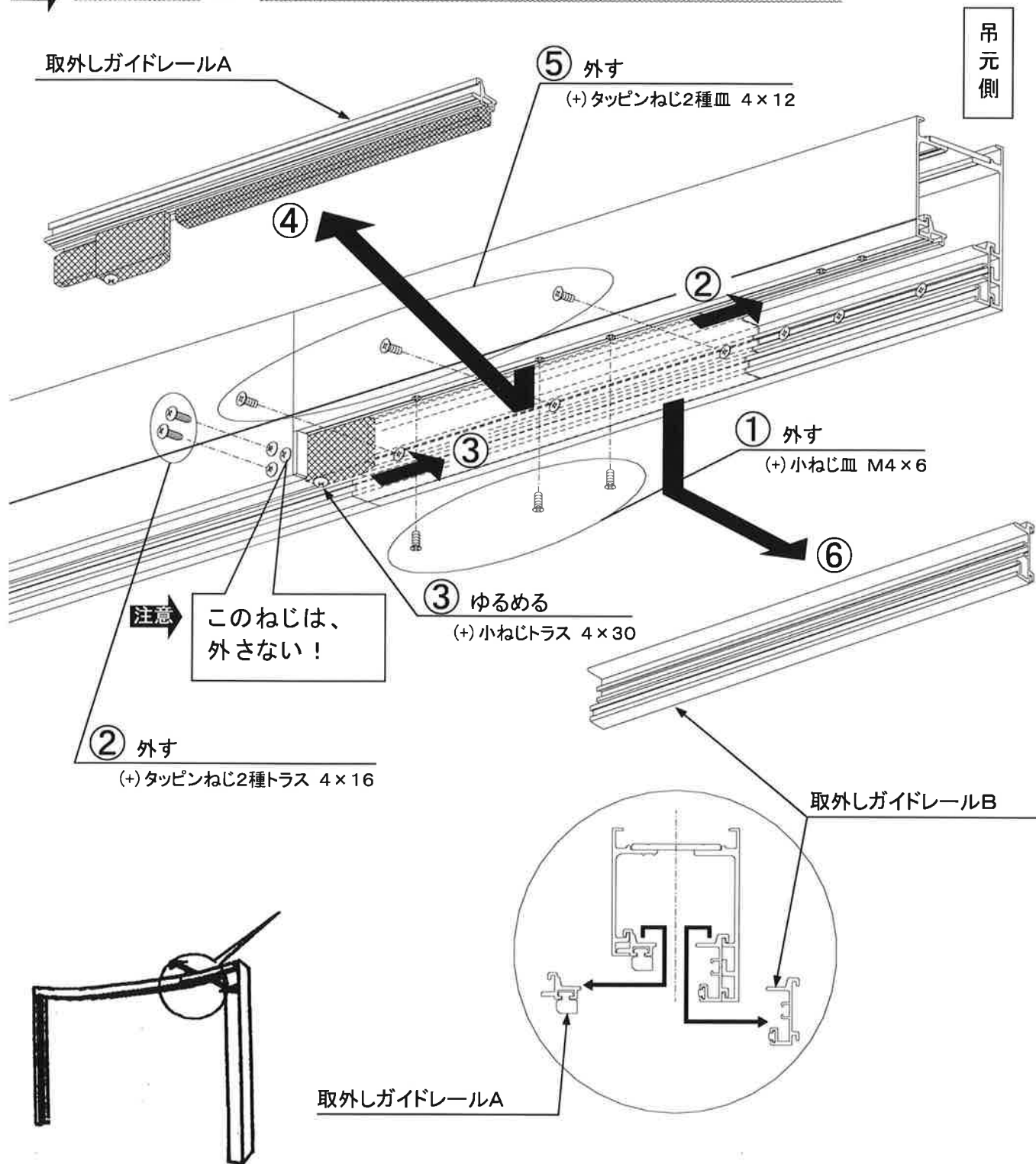
注意 扉を傷つけないように注意してください



■上枠ガイドレール取外し

- ① 取外しガイドレール部取り付け用の (+) 小ねじ皿 M4×6 3本を取外します。
- ② スライドコーナーを取り付けている、正面の (+) タッピンねじ2種トラス 4×16 2本を取外します。
注意 (スライドコーナー側の (+) タッピンねじ2種トラス 4×8 は外さないください。)
- ③ スライドコーナーを取り付けている、下方向からの (+) 小ねじトラス M4×30 1本をゆるめて、ガイド材の方向に30mmほどスライドさせます。
- ④ 取外しガイドレールAを取外します。
- ⑤ もう一方の取外しガイドレールBを取り付けている (+) タッピンねじ2種皿 4×12 3本を取外します。
- ⑥ 取外しガイドレールBを取外します。

注意 上記作業にて取外したねじは、再び使用するのので、紛失しないように注意してください。



■上枠ガイドレール取り付け

取り付け作業は、扉の吊込みをおこなってから、取り付け作業をおこなってください。

① ガイドプレートと裏板を取り付けている (+)小ねじ皿 M4×12 3本をゆるめます。

注意 ガイドプレートは、附属部品箱に同梱されています。

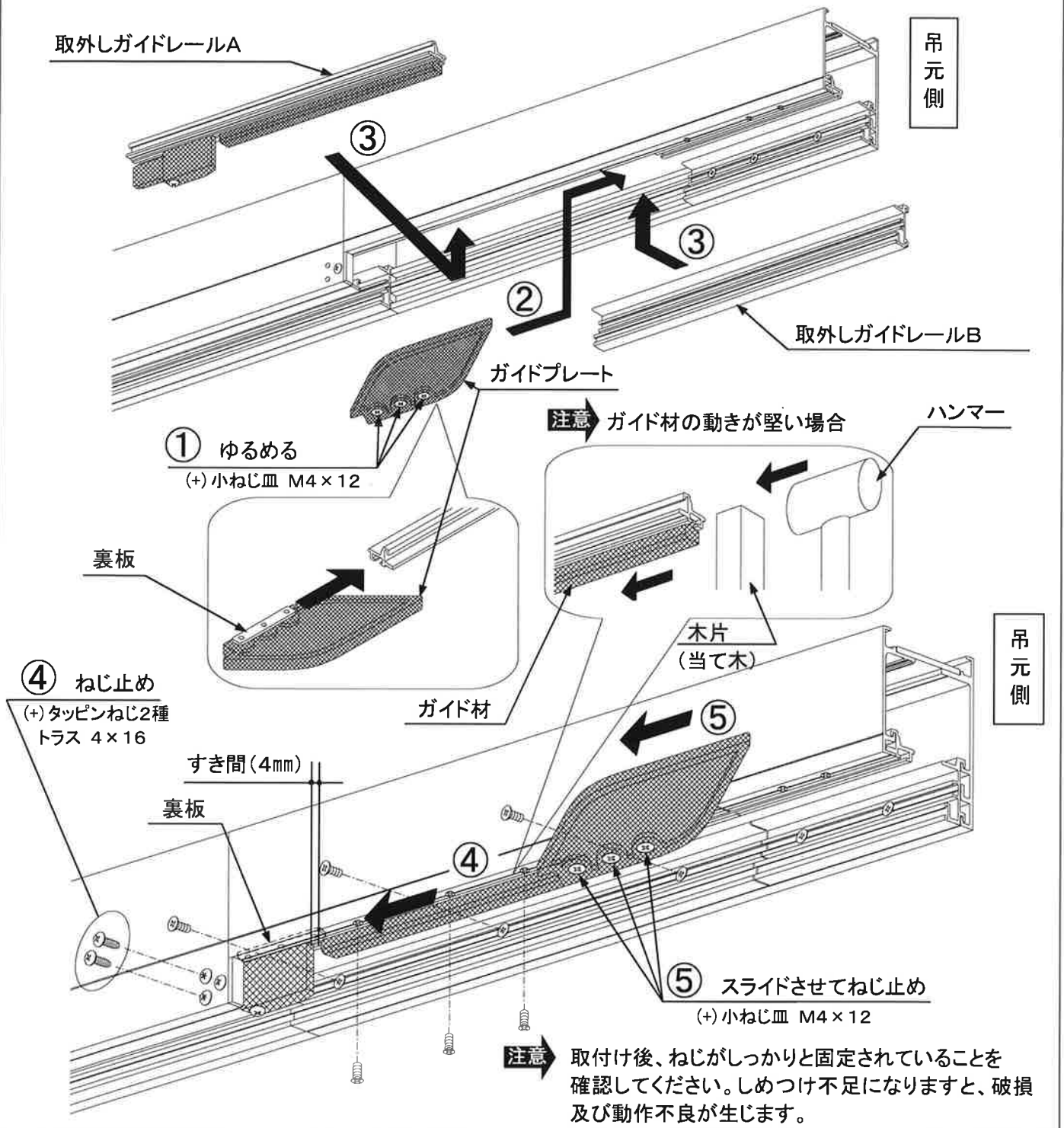
② ガイドプレートに取り付けられている裏板部を吊元側のガイドレール部に挿入し、ガイドプレートが全て納まるまで、吊元側にスライドさせます。

③ 取外しガイドレールを取外し作業の逆の順番で取り付けます。

④ スライドコーナーを (+)タッピンねじ2種トラス 4×16 2本にて取り付けした後、ガイド材をスライドコーナーに取り付けてある裏板部に当るまでスライドさせます。(この時、ガイド材とスライドコーナーのすき間は4mmできます。)

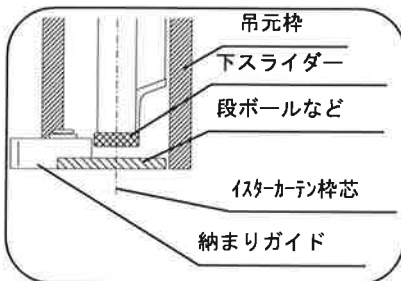
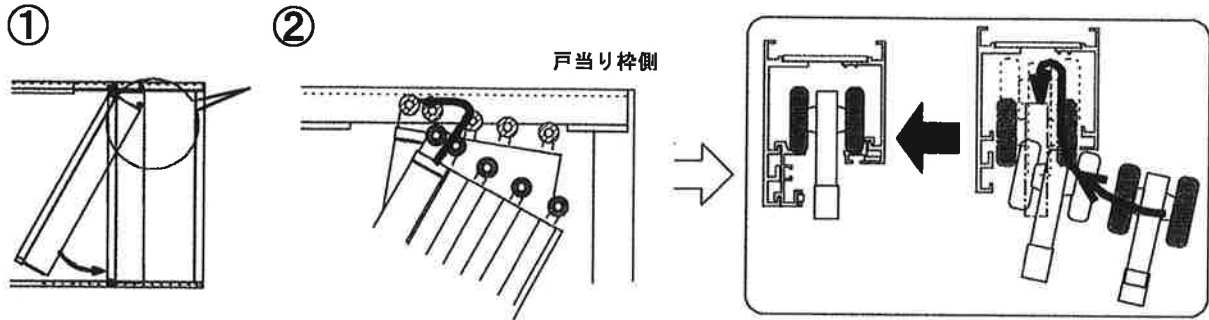
注意 ガイド材をスライドさせる際に、動きが非常に堅い場合があるので、ガイド材を傷つけないように木片などで当て木をし、ハンマーなどでたたき、スライドさせてください。

⑤ ガイドプレートをガイド材に当るまでスライドさせ、ガイドプレート固定の (+)小ねじ皿 M4×12 3本にてねじ止めします。



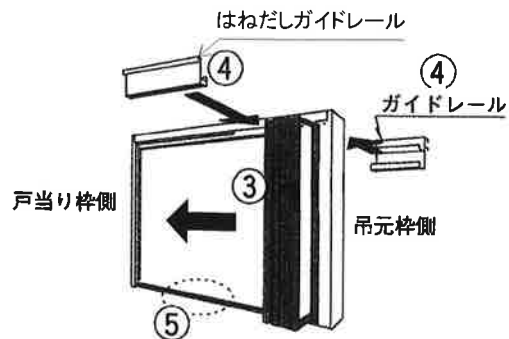
■扉の吊込み

- ①下レール、土間、床等に段ボールなどを敷き、キズがつかないようにしてください。
- ②図の様に上枠の扉取り付け位置に斜めにセットし、図の様に上部ローラーを枠の中に入り込ませるように扉を起し下部ローラーを下レールの溝にはめ込み吊込んでください。
- ③扉をすべて吊元側へ送り込んでください。



下スライダーをイスターカーテン枠芯に納めてください

- ④先に取外したガイドレールを取り付けてください。



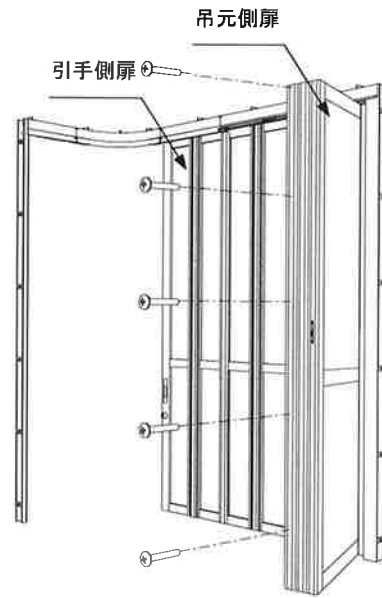
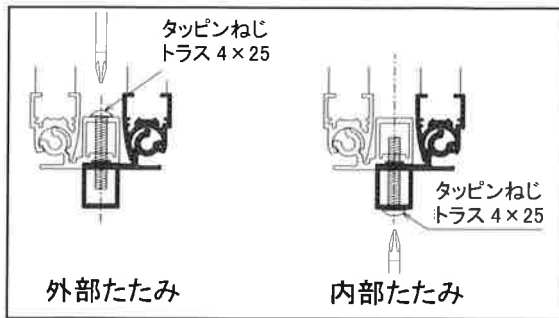
注意

引分けの場合は、左右の扉をそれぞれ吊元側より吊込んでください。

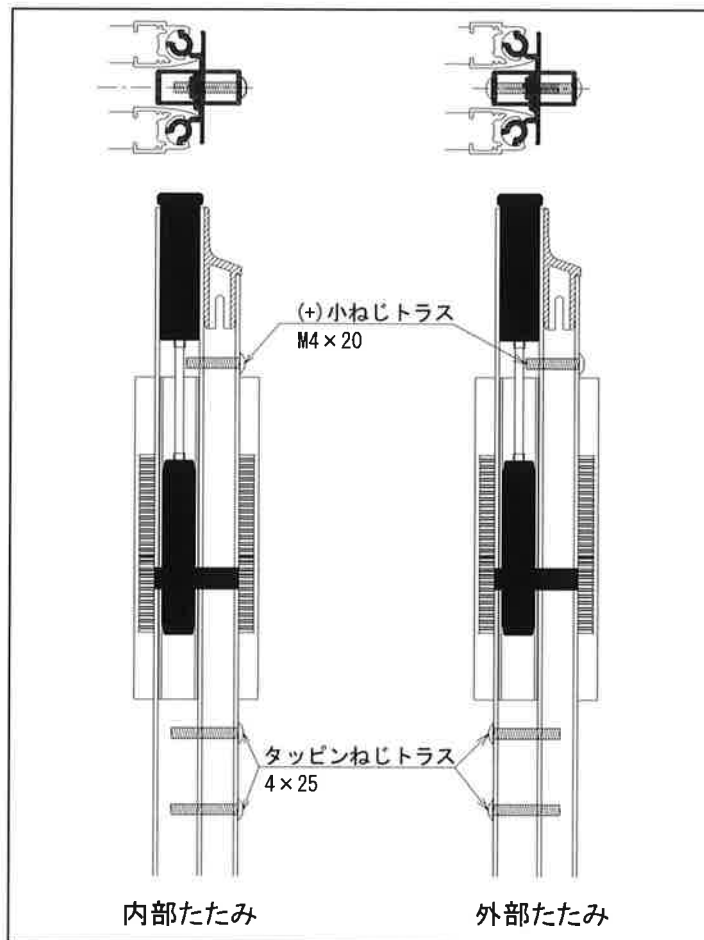
■扉の連結

注意

- 連結の際には、吊元側扉と引手側扉のジョイント部が下図のように、組み合っていることを確認してください。
- 扉連結は、必ず手回しドライバーを使用してジョイントしてください。
電動ドライバーは絶対に使用しないでください。

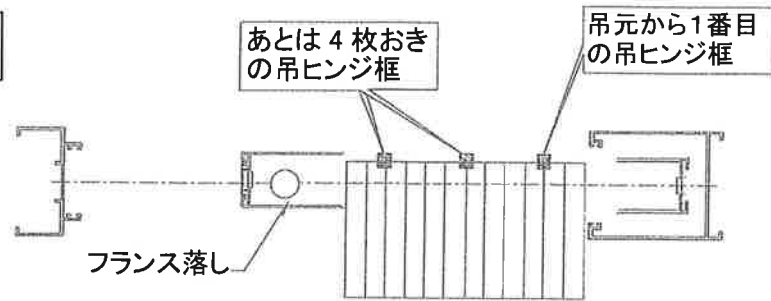


扉の連結は、内部たたみ・外部たたみで
連結が異なりますので注意してください。



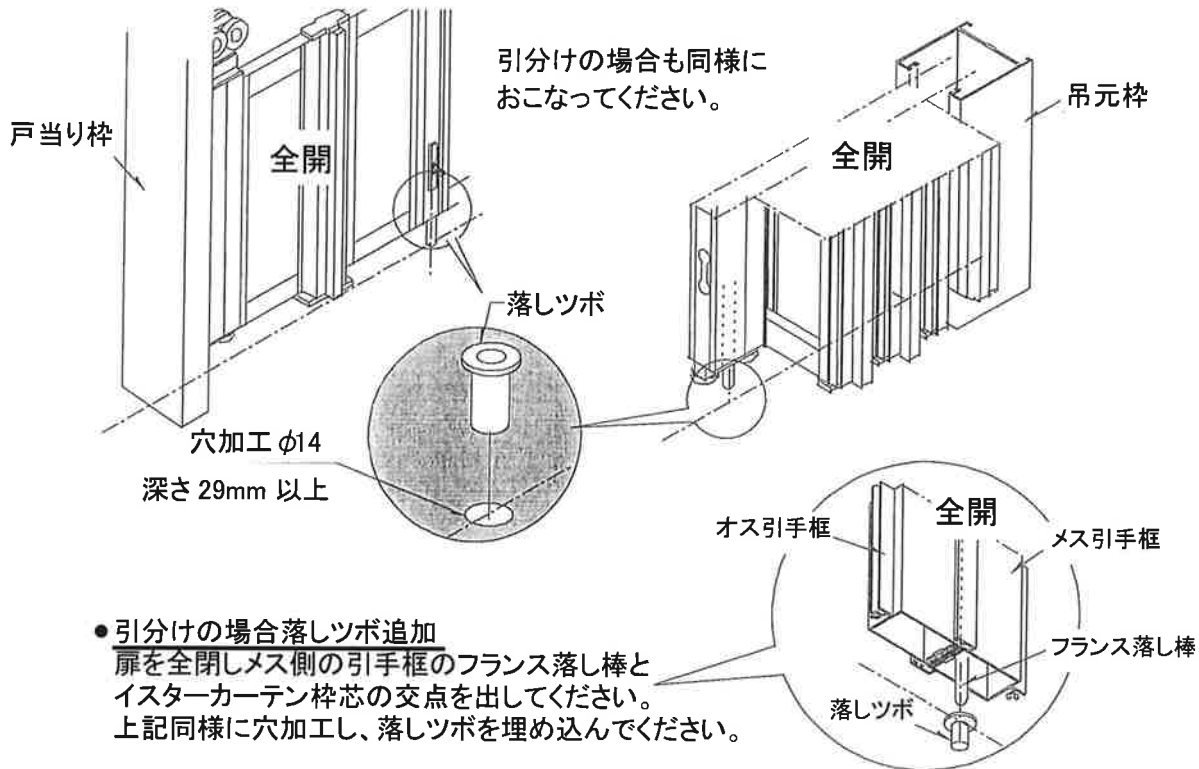
3 落としツボの取り付け

下部落し棒の位置



落としツボの埋め込み

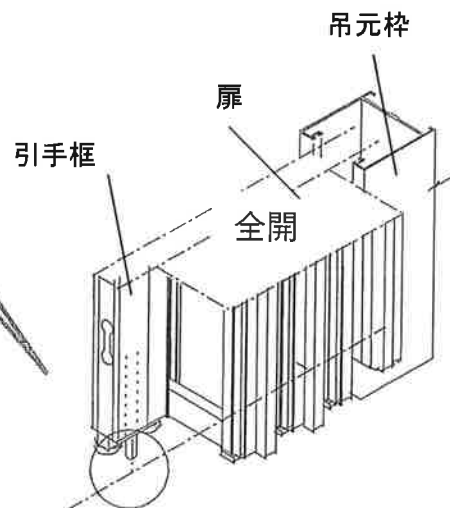
- 扉を全開し、吊ヒンジ框の下部落し棒とイスターカーテン枠芯の交点を出してください。落としツボ位置にφ14×29以上の穴加工し、落としツボを埋め込んでください。
- 扉をたたみ、引手框のフランス落し棒とイスターカーテン枠芯の交点を出してください。落としツボ位置にφ14×29以上の穴加工し、落としツボを埋め込んでください。



- 引分けの場合落としツボ追加
扉を全閉しメス側の引手框のフランス落し棒とイスターカーテン枠芯の交点を出してください。上記同様に穴加工し、落としツボを埋め込んでください。

傾きに注意

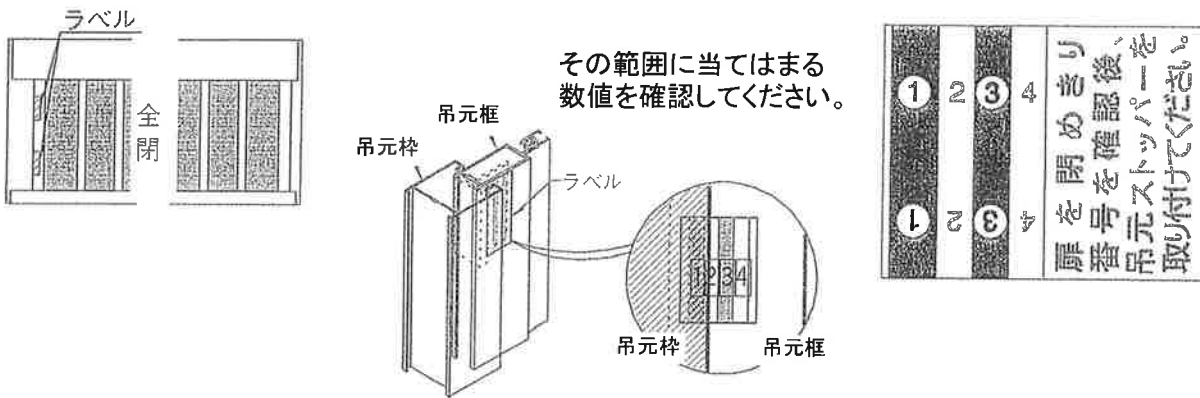
交点をだす際に、扉をたたみ方向に押えると、フランス落しを施錠した際に、本体が傾くおそれがあります。完全に折りたたみ手を離れた状態でフランス落し棒の芯とイスターカーテン枠芯の交点を出してください。



4 吊元ストッパーの調整

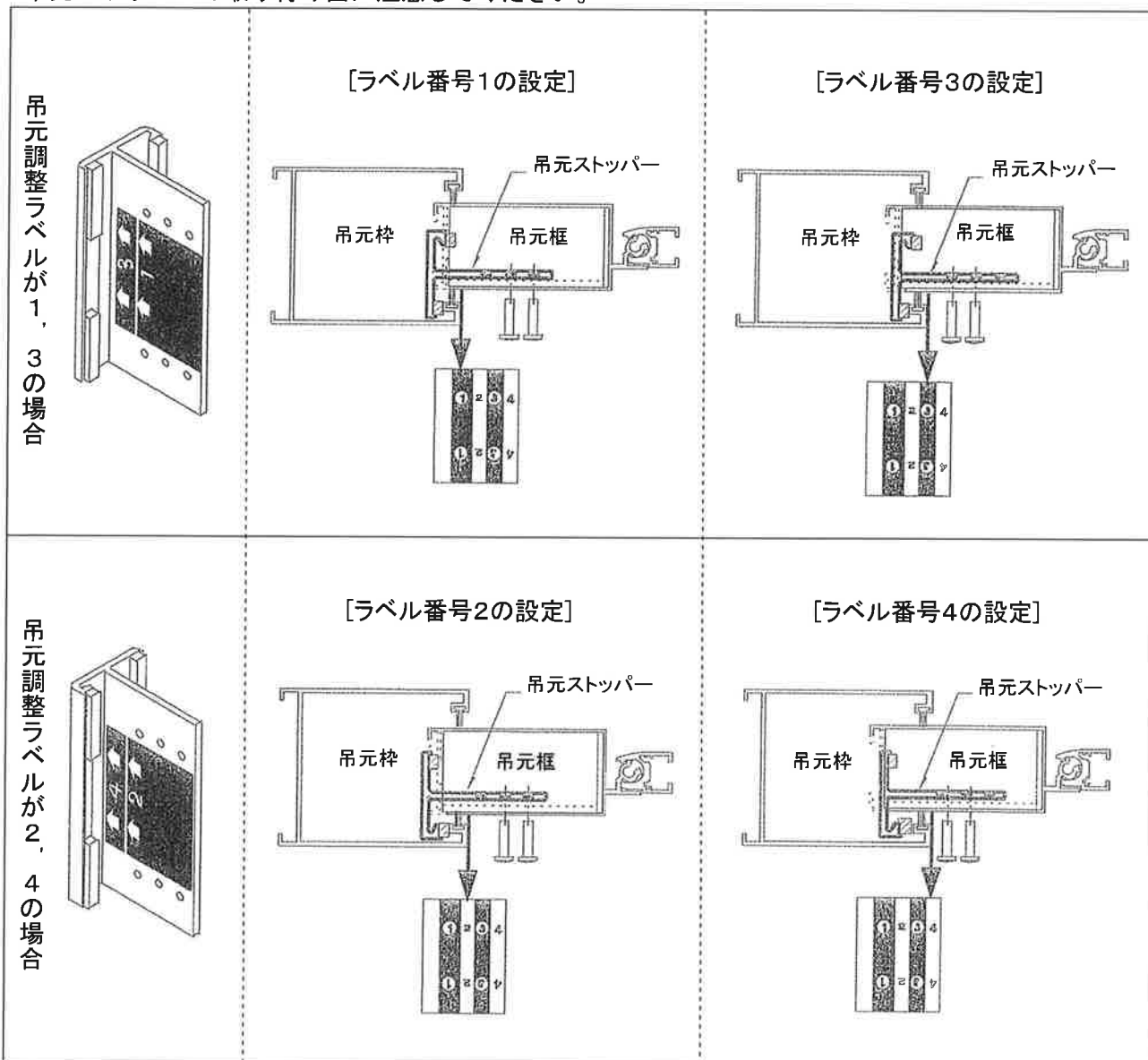
■吊元ストッパーの調整ラベル

パネルの吊込み、連結ヒンジ框の取り付け後に全閉状態にしてください。
 全閉時の吊元枠と吊元枠の重なり位置を、上下に貼付けてある吊元調整ラベルにて確認してください。
 その範囲の番号によって、吊元ストッパーの取り付け位置を決定してください。



■吊元ストッパーの位置

吊元ストッパーの取り付け面に注意してください。



■吊元ストッパーの取り付け

- ①上図を参照して上下とも吊元ストッパーの番号設定位置を確認してください。

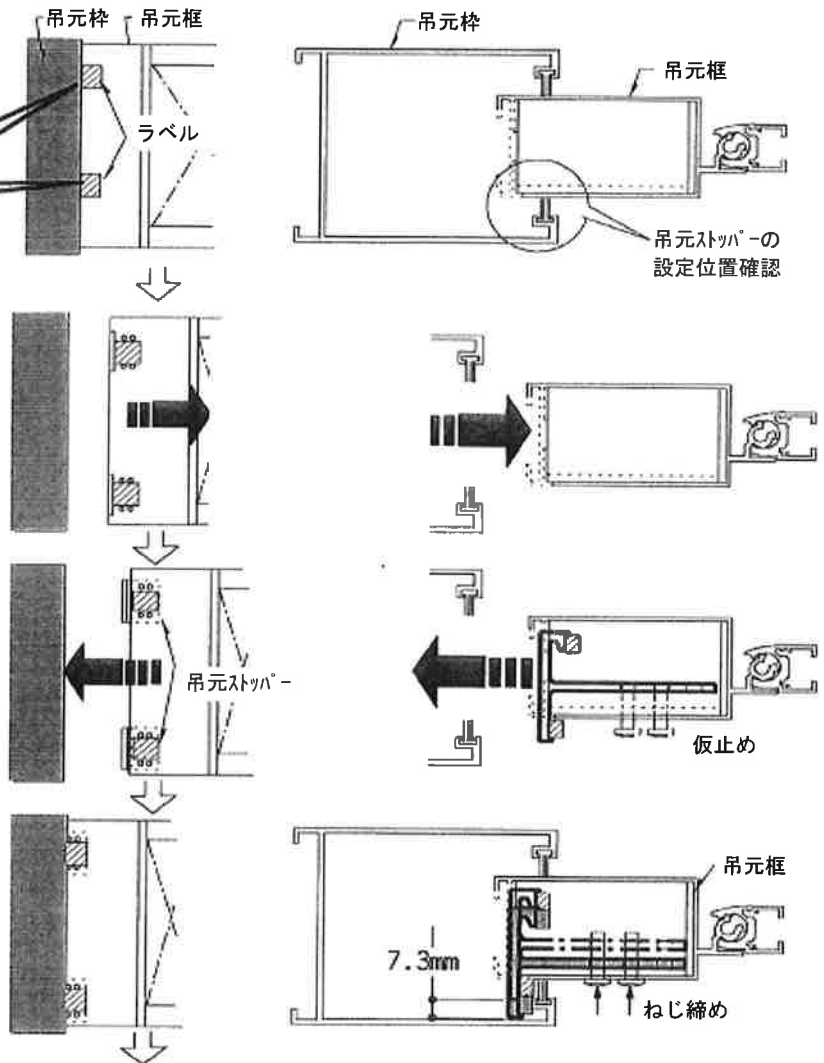
上下とも吊元ストッパーの設定位置確認をおこなってください。上下で設定位置が異なる場合があります。

- ②一度吊元枠より吊元枠を外してください。

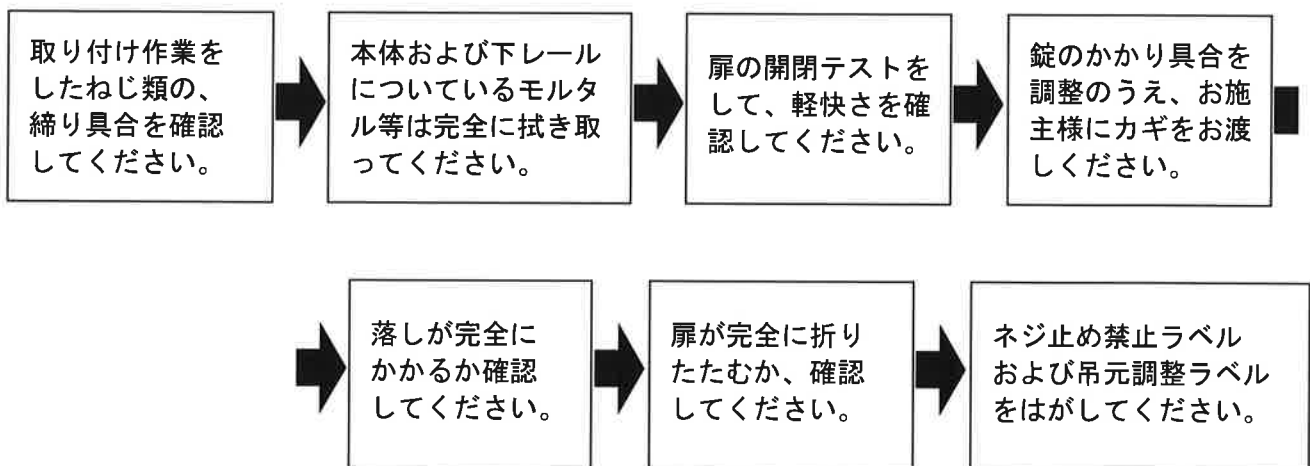
- ③吊元ストッパーを仮止めしてください。再度吊元枠に入れてください。

- ④仮止めされた吊元ストッパーのねじを締めてください。

- ⑤最後に吊元調整ラベルをはがしてください。



施工後の点検



株式会社 TOKO

〒916-0062 福井県鯖江市熊田町1-100

電話 (0778)62-1121(代)

FAX (0778)62-2234

MEMO

